

スプレー缶は使い切って 出してください

中身の入ったスプレー缶が原因と思われる、
ごみ収集車両の火災や、リサイクル工場での爆発
事故が起きています。

中身の入ったスプレー缶を捨てると、
処理に危険が伴うだけでなく、結果としてごみ処理
にかかる費用が上がり、税金の無駄遣いとなります。

ごみの処理は、市民の皆さん全員の生活に係わることで、
次のとおり適切にごみ出しをしてください。



STEP
01

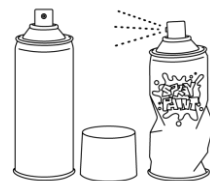
スプレー缶の中身を使い切る・出し切る

- ・必ず中身を空にしてください
- ・ガス抜きキャップなどがある場合は、火気がなく、
風通しの良い屋外で作業をしてください

STEP
02

中身が空になったか、確認する

- ・缶を振って、音を聞いてください
- ・中身が残っていると、「シャカシャカ」などの音
がします(使用条件により少量は残ることがありま
す)



STEP
03

金属ごみとして出す

- ・キャップやボタンなどのプラスチック部分は外し
てください
- ・「カンごみ」にスプレー缶を入れると収集されま
せんのでご注意ください

※スプレー缶は「穴あけ不要」です。不用意に穴をあけると、「火災」や
「破裂事故」の恐れがあります。

(お問合せ先) 旭市 環境課 環境政策班 電話：0479-62-5328